

創立120周年 記念式典



滋賀県立
大津商業高等学校

記念式典

13:00~14:00 司会 田中 正春

→ ☞

☜ ←

開式の辞
国歌斉唱
物故者への黙禱
学校長式辞
実行委員長挨拶
来賓祝辞

教頭 長谷川 真一郎

校長 寛 美 貴
実行委員長・同窓会長 内 田 知 明
滋賀県議会議長 目 片 信 悟 様
滋賀県教育委員会教育長 村 井 泰 彦 様

来賓紹介
祝電披露
記念事業目録贈呈
慶びの言葉

教頭 長谷川 真一郎

実行委員長 内 田 知 明
大商サポーターズリーダー 中 島 美 幸
生徒会長 大 谷 孝太郎

国民スポーツ大会
活躍者紹介
校歌斉唱
閉式の辞

記念式典推進部長 桐 田 真 人

教頭 長谷川 真一郎

記念講演

14:15~15:45 司会 田中 正春

→ ☞

☜ ←

演 題
講 師

「プロスポーツクラブにおけるビジネス面の可能性」
株式会社滋賀レイクスターズ 代表取締役社長 原 毅人 氏

記念祝賀会

16:30~18:30 司会 南 あき

→ ☞

☜ ←

開式の辞
挨拶
来賓祝辞

同窓会副会長 小 島 俊 明
同窓会副会長 桐 田 真 人
滋賀県副知事 岸 本 織 江 様
大津市長 佐 藤 健 司 様

校長謝辞
感謝状贈呈
乾杯発声
会食
万歳三唱
閉式の辞

校長 寛 美 貴
同窓会長 内 田 知 明
同窓会顧問 栢 木 進

同窓会前会長 古 川 亘
同窓会副会長 竹 内 基 二

はら
原

たかと
毅 人



1988年(昭和63年) 3月4日生まれ 37歳
神奈川県横浜市出身
身長 174cm 体重 72kg

東海大学付属相模高等学校 卒業
東海大学 卒業

選手経歴

2013年 BJリーグ ドRAFT2巡目青森ワッツに指名され入団
2013年～2014年 青森ワッツ
2014年～2015年 埼玉ブロンコス
2015年～2016年 大分・愛媛ヒートデビルズ

指導者経歴

2016年～ 横浜ビー・コルセアーズアカデミーコーチ

2020年～2023年 楽天グループ株式会社
スポンサーシップセールスのマネージャーを務めたほか、
ストリートマネジメント事業立ち上げに従事

2023年 7月 株式会社滋賀レイクスターズ
代表取締役社長に就任

お祝いの言葉



滋 賀 県 知 事
三 日 月 大 造

滋賀県立大津商業高等学校が、創立120周年という佳節を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。また、このたび120周年記念誌が発刊されますことに対し、謹んでお祝いを申し上げます。

北に霊峰比叡を仰ぎ、東に日本一の湖・琵琶湖を望む風光明媚な地において、明治38年、大津市立大津実業補習学校として創立されて以来、明治・大正・昭和・平成・令和と続く激動の時代のなかで、「誠実・敬愛・自立」の校訓のもと、本県商業教育の先導役として、長年にわたり大きなご貢献をいただいてまいりました。

これまでに28,000名を超える卒業生を輩出され、その方々が経済界をはじめとする各分野においてご活躍されていることは、ひとえに歴代校長先生をはじめとする教職員の皆様、保護者、同窓会、後援会など関係各位のご尽力の賜であり、深く敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

大津商業高等学校では、「総合ビジネス科」および「情報システム科」の2学科を設置し、急速に変化する社会にも対応し得る、課題解決力を備えた人材の育成に取り組んでおられます。生徒の皆さんが、興味・関心に応じた類型やコースを選択して専門性を深めながら、多くの資格取得に成果を上げられていることは、まことに頼もしく、心強い限りです。

また、部活動にも積極的に取り組まれ、今年、本県で開催しました第79回国民スポーツ大会の強化拠点校として、競技力の向上や選手育成に積極的に取り組まれました。これまでも運動部・文化部ともに県大会や全国大会で優れた成績を収められており、その成果は、地域全体の誇りです。

戦後80年を経た今、社会や経済の仕組み、価値観、生活様式などは大きく変わりつつあります。こうした時代においては、既存の慣習にとらわれない創造力や変化に対応できる柔軟性、そして変化の中にあっても揺るぐことのない高い倫理観を備えた人材の育成が、これまで以上に求められています。これからも時代の要請に応え、これまで築かれてきた輝かしい伝統と実績の上に、さらに豊かな歴史を刻まれることを心より期待いたします。

結びに、120年の歴史と伝統が息づくこの学び舎において、生徒の皆さんが勉学やスポーツ、文化的活動等に励み、将来、社会に貢献する立派な産業人として羽ばたかれることを願っております。今後も大津商業高等学校のますますのご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

大津商業高等学校創立120周年 市長祝辞



大津市長
佐藤 健司

滋賀県立大津商業高等学校が創立120周年という記念すべき節目の年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。永きにわたり本校の発展にご尽力されてこられた歴代の校長先生をはじめ、教職員、同窓生、そして地域の皆さまのひとかたならぬ御尽力に対しまして、深甚なる敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

貴校は、明治38年の創設以来、幾多の時代の変遷を経ながらも、「誠実・敬愛・自立」を校訓に掲げ、実社会で生きる力を育む商業教育の拠点として、今日まで輝かしい歴史を刻んでこられました。120年にわたる歴史の中で、28,743名の同窓生を世に送り出し、それぞれが産業界をはじめ、教育、行政、地域社会など多様な分野で活躍されていることは、貴校の誇りであるとともに、大津市にとっても大きな喜びであります。

在校生の皆さんが、学業はもとより部活動や地域貢献活動において、ひたむきに努力を重ね、学校と地域が一体となって歩を進めてこられたことは、貴校の伝統が単なる歴史の積み重ねではなく、地域に根ざした学校として継承されてきた証であります。

現代社会は、急速な技術革新と国際化の波の中にあり、未来を生きる若人には、これまで以上に確かな判断力としなやかな感性が求められています。このような時代を生きる生徒の皆さんには、校訓である「誠実」な心で物事の本質を見極め、「敬愛」の念をもって多様な価値観を尊重し、そして何事にも主体的に挑戦する「自立」の精神を、より一層磨いていただきたいと思います。そうした皆さんが、これからの社会を力強く支え、希望の光を灯していかれることを心より願っております。

また、本市では、貴校と連携し、生徒の皆さんが自らの視点でまちの未来を考える「次世代ワークショップ」を実施しており、皆さんの発想力と探求心には、次代を担う若者の力強さを感じております。こうした活動を通じて皆さんが自らの暮らすまちに誇りと愛着を持ち、将来の大津を支える人材として成長されることを大いに期待しております。本市といたしましても、引き続き学校と連携しながら、若い世代の感性や発想をまちづくりに生かしてまいります。

結びに、滋賀県立大津商業高等学校が、これからも輝かしい伝統を礎に、新たな時代の風を受けながら、地域の発展と次代を担う人づくりにますますご尽力されますことを祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

創立120周年記念式典にあたって



滋賀県立大津商業高等学校 校長
寛 美 貴

本日ご来賓の皆様をはじめ同窓会員、保護者の皆様にご臨席をいただき創立120周年記念式典を挙行できましたことは、教職員、生徒一同、誠に光栄なことであり、学校を代表して心からお礼を申し上げます。

本校は、明治38年4月14日に大津市立大津実業補習学校として創立し、商業および家政を中心とする知識技能を持った、実務能力に秀でた人材を育成する目的で設立されました。

それ以降、工業科との併設、戦後の学校統廃合、分割といった変遷をたどることになりましたが、今日まで120年の長きにわたり、一貫して実学に根差した全人教育を掲げ、社会に貢献する人材の育成に努めてまいりました。幾多の卒業生の皆様が、地域の政治、経済、教育の発展を支えてこられました。

「誠実」「敬愛」「自立」の校訓のもと、歴代の校長先生をはじめご勤務いただいた先生方、在学された卒業生の皆様が築かれた伝統と成果に感謝しつつ、創立120周年の節目にあたる本年度も、「不易流行」、伝統を守りつつも先進的な挑戦を続けてまいりたいと考えております。

令和5年度から取り組んでいる「しがクリエイター12プロジェクト事業」は今年度で完成年度を迎えます。高校で学ぶ専門的な知識・技術を社会で活かすため、自治体・産業界等を巻き込んだコンソーシアムの構築を目指し、地域の良さを理解するとともに、地域を愛し、地域や地域の企業の振興に寄与できる人材の育成を目指して活動してまいりました。具体的には1年次の「地域を知るフィールドワーク」2年次の「地域の課題をビジネスで解決するビジネスプランの作成」、そして3年次には「地元企業と連携した商品開発や販売実習、イベントの企画・開催」などを行い、地域の活性化に寄与することができました。

また、令和6年度から「高校版DMO観光ビジネス事業」の取り組みも始まりました。本校を事業拠点校として、生徒が主体となって地域の価値ある資源を再発見、再評価して観光資源として活かし、地域経済の活性化をはかる目的で活動を行っています。なかでも、昨年度は、東京日本橋にある滋賀県のアンテナショップ「ここ滋賀」での販売実習を行い、今年度は引き続き観光案内業務を行うことができました。県内初の高校生による「ここ滋賀」での販売ということで、多くのメディアに取り上げられ、本校にとっても、生徒たちにとっても、大変貴重な経験となりました。

大津商業高等学校は、今後も、120年の伝統に誇りと感謝の思いを抱きながら、「商業の専門学校として専門教育と普通教育を推進し、社会の発展に寄与する想像力豊かで逞しい職業人を育成する」ことを目指して努力してまいりますので、皆様の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

創立120周年を祝して



同窓会会長
内田 知明

令和7年11月22日 本日ここに多数のご来賓の皆様をはじめ同窓会員、保護者の皆様に御臨席を賜り、滋賀県立大津商業高等学校創立120周年記念式典を挙行できますことは実行委員長として至上の喜びであります。滋賀県立大津商業高等学校は明治38年4月14日に大津市立大津実業補習学校として開設されて以来、年号も明治、大正、昭和、平成、令和と五代にわたり、その間我が国の社会情勢も大きく変遷してきた中で、学制改革および学校統廃、分割と学校存続の危機に直面しながらも歴代の校長先生をはじめ教職員の方々、同窓会、保護者、地域の皆様が一致団結して、県・市当局のご支援を受け危機を乗り越え幾多の試練にも耐え120年の歴史を刻み続けてきました。これもひとえに歴代校長先生はじめ関係各位のたゆまぬご尽力のお陰と衷心よりお礼申し上げます。大商は商業教育の中心として、その地位を築いてまいりました。その間本校を巣立った同窓生会員は28743名を数え、校訓もありますように「誠実・敬愛・自立」をモットーに歴史と伝統を誇る校風は今も語り継がれ「大商魂」としての進取の気性と強く生き抜く精神は脈々と持ち続けながら、県内はもとより全国各地においてご活躍されておられます事は周知の通りであり、輝かしい業績を残され伝統を築き上げてこられた卒業生の皆様のご努力に感謝申し上げます。

創立120年を迎えるにあたり、記念事業につきましては、同窓会が主体となり、教職員ならびにサポーターズ（旧 PTA）の皆様の甚大な協力を得て創立120周年記念実行委員会を組織し推進して参りました。記念事業は「大商魂、次の世を担う」のスローガンのもと記念事業として体育館ステージに大型スクリーンとプロジェクターを設置、学校ホームページの更新、また記念誌発刊等の事業に加えて、創立120周年記念講演事業として、講師に滋賀レイクスターズ代表取締役社長兼GMの原毅人さんをお招きしご講演をいただきます。これらの記念事業は単なる120周年の記念事業ではなく母校大商設立の原点と商業教育推進の一助なればという願いを込めての記念事業であります。校歌の中に「古き人、つくりしものをのりこえてより美しき、次の世をになう」との歌詞があります。在校生の皆さんは、この120周年を機に先輩たちが築いてこられた輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ次代を担う人材として、深い知性と優れた実践力をもつ心豊かでたくましい人として成長し社会に貢献されることを期待しています。

結びになりますが、本日こうして120周年が迎えられることは大変喜ばしく、これまで母校を支えて頂いた皆様と同窓会を代表し、改めて感謝とお礼を申し上げたく存じます。また、この度の120周年記念事業推進のために御協力いただいた創立120周年記念事業実行委員会の皆様方に心よりお礼申し上げるとともに大津商業高等学校が今後益々発展し進化してゆくことを心より祈念しお祝いの言葉といたします。

歴代校長



初代校長
溝田 義道
(昭和33年4月～36年3月)



第2代校長
石島 愛知
(昭和36年4月～40年3月)



第3代校長
束田 延尾
(昭和40年4月～43年3月)



第4代校長
山田 清一
(昭和43年4月～46年3月)



第5代校長
岩崎 武
(昭和46年4月～49年3月)



第6代校長
北村新一郎
(昭和49年4月～52年3月)



第7代校長
小椋幸三郎
(昭和52年4月～56年3月)



第8代校長
中村 久男
(昭和56年4月)



第9代校長
住田 英隆
(昭和56年4月～57年3月)



第10代校長
完甘 彰
(昭和57年4月～59年3月)



第11代校長
金子 嘉明
(昭和59年4月～62年3月)



第12代校長
川道 博
(昭和62年4月～平成元年3月)



第13代校長
川端 弘
(平成元年4月～3年3月)



第14代校長
小椋 信治
(平成3年4月～6年3月)



第15代校長
越後 道夫
(平成6年4月～9年3月)



第16代校長
岩崎 準利
(平成9年4月～11年3月)



第17代校長
輪木 文博
(平成11年4月～13年3月)



第18代校長
佐野 裕郎
(平成13年4月～16年3月)



第19代校長
七里 源一
(平成16年4月～19年3月)



第20代校長
疋田 勝司
(平成19年4月～22年3月)



第21代校長
三鼓 修平
(平成22年4月～26年3月)



第22代校長
堀井 善之
(平成26年4月～28年3月)



第23代校長
梅村 妙子
(平成28年4月～29年3月)



第24代校長
今井 義尚
(平成29年4月～令和2年3月)



第25代校長
小島 秀樹
(令和2年4月～4年3月)



第26代校長
秋永 尚哉
(令和4年4月～7年3月)



第27代校長
笥 美貴
(令和7年4月～)

創立 120 周年募金・協賛金者ご芳名 (順不同、敬称略)

旧職員

辻 忠
西村 文子
深井 恵純
石脇 佳代子
井上 嘉彦
岩崎 準利
小島 秀樹
佐野 裕郎
田中 潤子
疋田 勝司
澤田 史子
中山 芳典

昭和 22 年

長谷川 邦男
田村 一男

昭和 27 年

堀口 博康

昭和 28 年

加藤 雅之

昭和 29 年

井口 勝彦
中島 三好

昭和 30 年

木村 孝次
遠国 房江
板東 佐英子
貝嶋 信子

昭和 31 年

大川 文男
岸上 保徳
高井 義三
八田 米吉
初田 栄忠
東 克昭
松城 光昭
水野 登美子
浦野 妙子
山本 みつ子
近藤 洋子
東野 いさを
目片 寿満子

昭和 32 年

石田 和正
川島 達夫
竹田 良三
齋藤 中子
長 倭子

昭和 33 年

相川 良和
井ノ口 順一
西山 正之助
中嶋 千春

昭和 34 年

北出 英喜
西條 保
米田 多智夫
奥島 美代子
竹田 静波

昭和 35 年

山村 哲三
長井 節子
徳永 尚代

昭和 36 年

大治 正雄
掛樋 邦章
小寺 喜雄
滝 實夫
辻 次雄
中森 茂
橋本 昭一
村上 正治
山田 新一
吉田 勝子
中谷 輝子
堀内 節子
崎山 かつ子
梶木 喜美子

昭和 37 年

大居 喜代勝
塩谷 芳之助
八田 享之
広岡 貞之
本田 昭夫
吉田 五十一
嶋藤 勝代
松良 将江
藺田 晃子
前田 壽美子
森 千代野
椎名 和子

昭和 38 年

赤井 正博
奥田 常晴
杉本 聖雄
関 章

中嶋 利雄
古家 輝二
安福 芳郎
山下 喜晴
山田 一彦
横田 勝年
吉川 善信
早川 加代子
飛田 澄子
上山 辻あや子
山本 忍恵
岸本 昭恵

昭和 39 年

石田 清高
井上 洋明
西村 敏男
白子 學
中尾 喜沙市
中西 誠志
平尾 一良
林 四郎
吉永 治一
中井 清恵
橋本 廣子
角田 靖子

昭和 40 年

上野 保二
喜多 正平
藤本 一也
脇田 勇
相島 昌子
島田 早苗
大西 京子
北野 あい子
鈴木 利枝
藤井 友子

昭和 41 年

石田 耕一
岩崎 延幸
北川 作太郎
下村 直樹
杉川 亘
古田 彰夫
吉井 静子
大宮 広子
三浦 絹子
片木 貞子

湯浅 みよ子
尾松 美代子
竹澤 かづ子
玉本 静枝
二俣 明美
桜井 操

昭和 42 年

植中 日出夫
神田 泰幸
佐野 高典
鈴木 雄悟郎
竹端 孝男
田中 五郎
馬場 喜久雄
吉野 千栄子
宮島 さかえ
春原 優子
中山 好子
笹川 真知子
上田 まや子
中山 初子
馬場 昌子
秋野 久子

昭和 43 年

井上 敬造
後藤 又久
駒井 勢司
竹内 基二
寺尾 寛治
西村 光男
矢野 利夫
吉坂 明
福井 久留美
鈴木 美津江
見館 美知代
井上 たか子
望月 陽子
下田 操子

昭和 44 年

井之口 秀行
古川 峰行
青木 啓二
小島 俊明
田口 孝男
吉田 信実
竹中 信夫
森 康雄
田中 章司

斎藤幸子
河野房江
金須典子
吉岡英子

昭和45年

宇野正昭
上野隆司
阪口健三
北川ますみ
大瀬洋子
石淵洋子
岩井つぎえ

昭和46年

山元滋樹
横江修一
上田尚彦
寺田和正
中島重則
寺田恵津子
上杵田鶴美

昭和47年

芝田安幸
上西宗市
永金基樹
寺田利彦

昭和48年

山本勝也
上野誠一
中野忠司
鈴木孝雄
富山善行
杉野明美

昭和49年

小河文人
西村正教
野々山広美
西川真佐子
平野陽子
高木直子
林中淳子
大谷美恵
浜岡比佐子

昭和50年

雲林院弘吉
遠藤裕伸
河野広志
栢木進
山中善博

清水百合江
安川千香子
黒沢麻利子
小鴨恭子

昭和51年

河合修司
外輪好雄
福岡徹
内田知明
山元康幸
若山和也
榊弘子
東久美子
山田雅子
居合妙子
山本洋子
杉本幸子
栢木裕子
若山かほる
山田友紀
河崎恭子
古田輝美
小林祐美

昭和52年

川崎権蔵
佐藤護
藤野貴司
麻野晃司
織戸英信
小寺節子

昭和53年

小野功好
平崎一治
杉本安代
小野孝一
中井一美

昭和54年

御池俊之
山本敦子

昭和55年

山脇八千代

昭和56年

中村秀毅
八木孝夫
伊山明美
瀧瀬みさ江

昭和57年

泉岡幸子

小島万知
奥村真弓

昭和58年

田中正春
山元照彦
松田義弘
奥田桂吾
松田博子
椿ちあき
岡嶋朋子
辻加洋香
中野寿美子

昭和59年

田中裕子
山本陽子

昭和60年

吉田竜一
辻井康歩
小谷康樹
大塚富美代

昭和61年

進藤智
橋本淳
亀井由紀子
郷司真沙美

昭和62年

岡治知世江

昭和63年

須佐見和幸
徳谷英昭
森川由里子
小川智子

平成元年

片山幸博
林裕子
大芝晃子

平成2年

徳田雅純

平成3年

井上信彦
大嵯めぐみ

平成4年

西村智明
井上豪
中川ゆかり
中島誉子
森川雅子

平成5年

和田真司
中井博美
森留美

平成6年

萩原美穂子

平成7年

山田幸一
栗田優子
川口浩史
古川徹
桐田静華
卒業生有志一同

平成8年

浅井千尋

平成12年

栢木健司
柴田茂雄
饗庭弘実

平成13年

永島知香

平成14年

上嶋悠司
栢木紹身

平成18年

小野良介
南部瑠見

平成19年

八軒宗久

平成24年

尾崎寛人
谷中恭太郎

平成25年

有木遼

平成26年

平井沙也花
遠藤幸美

平成27年

加藤健悟

平成31年

海老冢輝

令和4年

海老真吾

※令和7年10月25日
現在

校歌

輝かしく

高橋茂道・作詞
松島 彝・作曲

わ か き

い の ち み ど り に も え て は て し な く そ ら す み

と お る の ぞ み た か く ま な ぶ わ れ ら

こ こ に あ り 大 津 商 業 こ う 校 校

(一) 若き生命 緑に燃えて
涯しなく 空澄み透る
希望高く 学ぶ
われらここにあり 大津商業高校

(二) 若き歌 比叡に響けば
湖こえて 鈴鹿の山呼ぶ
朗らかに 集う
われらここにあり 大津商業高校

(三) 若き力 溢れ動けば
風狂い 雲は渦巻く
眉あげて 進む
われらここにあり 大津商業高校

(四) 古き人 つくりしものを
のりこえて より美しき
次の世をになう
われらここにあり 大津商業高校

あ と が き

本校は明治38年（1905年）に創立されて以来、地域と共に歩み、商業教育の発展と人材育成に努めてまいりました。本年、創立120周年という大きな節目を迎えるにあたり、これまで本校を支えてくださった卒業生、保護者、地域の皆様、そして関係各位に心より感謝申し上げます。

本日の記念式典が、これまでの歩みを振り返るとともに、次の時代への新たな一歩を踏み出す契機となることを願っております。今後とも、滋賀県立大津商業高等学校がより一層発展し、地域社会に貢献し続けることを祈念し、あとがきいたします。

滋賀県立大津商業高等学校創立120周年記念事業実行委員会

内 田 知 明	笥 美 貴	中 島 美 幸	服 部 弘 美
佐 野 高 典	栢 木 進	古 川 亘	竹 内 基 二
小 島 俊 明	小 嶋 恭 子	森 留 美	桐 田 真 人
遠 藤 裕 伸	井 上 豪	松 田 博 子	草 野 聖 地
川 端 雅 彦	坂 尻 朋 子	長谷川 真一郎	竹 尾 一 郎
三 村 誠 一	西 藤 史	佐々木 正 彦	田 中 正 春
上 坂 喜美子	森 川 由里子	森 川 雅 子	栗 田 優 子

滋賀県立大津商業高等学校

創立120周年記念式典

発 行 令和7年11月

発行者 創立120周年記念事業実行委員会

印 刷 ビジネスサービス株式会社

Memo

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.



齊

王

